

リビエラ新春親善レース 2020
(Shonan Race 1月)

Sailing Instructions
【帆走指示書】



- 共同主催 JSAF 加盟団体三浦外洋セーリングクラブ・シーボニアフリート
リビエラリゾートクラブ
- 協力 JSAF 特別加盟団体シーボニアヨットクラブ
- 大会組織 実行委員長 新通弘二 (株式会社リビエラリゾート)
レース委員長 才藤 滋 (三浦外洋セーリングクラブ)
プロテスト委員長 五十嵐光 (三浦外洋セーリングクラブ)

1. 適用規則

- 1-1. RRS 2017-2020
- 1-2. 本帆走指示書・レース公示
- 1-3. IRC クラスのみ IRC2019 ルール
- 1-4. ORC クラスのみ ORCRating System 2019 & IMS 2019
- 1-5. 本帆走指示書の[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する

2. 参加者への通告

- 2-1. 競技者への通告は、リビエラ新春親善レースのホームページと Facebook ページ (Riviera Yacht Race) に掲載する。
(<https://www.riviera.co.jp/marina/event/shonan-race/index.html>)
- 2-2. 帆走指示書の変更は、リビエラ新春親善レース・ホームページの公式掲示板に当日 8 時 30 分までに掲示する。海上で帆走指示書を変更する場合本部艇より口頭で通告される。
- 2-3. 荒天による中止の場合は、公式掲示板による掲示以外に、近隣の各ハーバーへも FAX または電話にて通知する。
海上集合後においては本部艇にH旗の上に N 旗(N/H)又はA旗の上にN旗(N/A)を掲揚するとともに、運営艇によりできるだけ各艇に通知する。
ただし通知がレース艇に伝わるかどうかについてレース運営者は責任を持たない。
荒天の場合陸上での中止は当日の午前 8 時 30 分までに決定する。

3. 出艇申告書兼乗員リストの提出 [DP]

- 3-1. 出艇申告書兼乗員リストはレース当日の1月5日(日)8:30より9:30までにレース本部に提出する事。
- 3-2. 遠方からの参加などでやむを得ず提出できない艇は、事前に FAX にて申告すること。
- 3-3. 出艇申告をしたにもかかわらずスタートしなかった艇は、その艇の責任者が速やかにレース本部に届けること。
- 3-4. IRC クラスに関しては IRC ルール 22.4 は適用しない。

4. ライフジャケットの着用

レース艇の乗員は出港から帰港までライフジャケットを着用していなければならない。膨張式の場合、最低各艇 1 個は口吹きで膨らませてみるなど点検をする事。

5. レース艇の認識 [DP]

- 5-1. レース旗・クラス旗を、スターン付近の目立つ位置に掲揚しなければならない。
- 5-2. レース参加艇は、レース旗として湘南レース旗を用いる。但し、新春親善レースのみ参加の艇は湘南レース旗を掲揚する必要はない（クラス旗をレース旗に代用する）。
- 5-3. IRC クラス（湘南レース I クラス）はレース旗の下方にクラス旗としてイエロー旗を掲揚すること。
- 5-4. ORC クラス（湘南レース O クラス）はレース旗の下方にクラス旗としてピンク旗を掲揚すること。
- 5-4. ダブルハンドクラス(湘南レース N クラス)はレース旗の下方にクラス旗としてグリーン旗を掲揚すること。
- 5-5. オープンクラスはレース旗の下にクラス旗としてホワイト旗を掲揚すること。
- 5-6. イエロー旗・ピンク旗・ホワイト旗・グリーン旗・湘南レース旗の手持ちが無い艇は事前に申し出て下さい。出艇申告時にお渡しします。
- 5-7. セールナンバーの無い艇にはリコールナンバーを支給することがある。マストより前方のライフラインに掲示しなければならない（リコールナンバー保証金 3,000 円。表彰式にてナンバー返却時に返金します）。

6. レース日程

2020 年 1 月 5 日（日） 10 : 25 予告信号（原則として全クラス同時。艇数が多い場合はクラス分けする）。

14 : 00 タイムリミット

15 : 00 表彰式（リビエラリゾートクラブ・プールサイド）

7. コース

スタート（小網代灯標付近）→秋谷沖マーク（反時計）→フィニッシュ（小網代灯浮標付近）
 秋谷沖マークのおおよその位置 < 北緯 35 度 13 分 00 秒 東経 139 度 33 分 17 秒 >
 マークの位置はおおよその位置であり状況によりずれる場合もある。
 亀城礁灯台の東側を通過してはいけない。

8. マーク

- 8-1. 黄色の膨張ブイを使用する(リビエラの文字入り)。
- 8-2. M 旗を掲揚した運営艇を代替マークとする場合錨泊していない場合もある。

9. スタート・ライン

- 9-1. スタート・ラインは、本部艇のリビエラカップ旗掲揚のマスト又はポールとリミットマークの見通し線とする。
- 9-2. スタート・ラインはスタートの 10 分後に消滅する。それまでにスタートしなかった艇は DNS と記録される。

10. フィニッシュ・ライン

フィニッシュ・ラインは本部艇または公式運営艇のリビエラカップ旗掲揚のマスト又はポールとリミットマークの間とする。

11. スタート方法

- 11-1. 原則として全クラス同時。艇数が多い場合は OPEN クラス、IRC クラス、ダブルハンドクラスに分ける事がある。掲揚されるクラス旗に注意すること。
- 11-2. RRS 規則 26 に従ってスタートは行われる（以下参考）。

予告信号（5 分前） クラス旗掲揚音響信号 1 声

準備信号（4 分前） P 又は I 旗及び U 旗掲揚音響信号 1 声

1 分信号（P・I・U）準備旗降下長音 1 声

スタート クラス旗降下音響信号 1 声

★クラス旗 OPEN クラス（湘南レース N クラス） : ホワイト旗(湘南レース旗)

IRC クラス	(湘南レース I クラス)	: イエロー旗
ORC クラス	(湘南レース O クラス)	: ピンク旗
ダブルハンドクラス	(湘南レースクラス N クラス)	: グリーン旗

(参考) I 旗が準備信号として掲揚された場合:

RRS 規則 30.1 (I 旗規則) を適用します。そのスタート信号の 1 分前に艇体、乗員または装備の一部でもスタート・ライン又どちらかの延長線のコース・サイドにある場合には、その艇はその後スタートする前に、コース・サイドからスタート・ラインの延長線を横切り、プレスタート・サイドまで帆走しなければならない。

(参考) U 旗が準備信号として掲揚された場合:

RRS 規則 30.3 (U 旗規則) を適用します。そのスタート信号の 1 分前に艇体、乗員または装備の一部でもスタート・ラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の中にあってはならない。違反して、特定された場合その艇は審問なしに失格とされなければならない。ただし、レースが再スタートまたは再レースとなった場合は、失格としてはならない。

12. 個別のリコール

個別のリコール艇があった場合、音響信号 1 声とともに、X 旗を掲揚する。X 旗はリコール艇の全てが、スタート・ラインの延長線のプレスタート・サイドに完全に入るまで、またはスタート信号後 4 分後までのうち早い方まで掲げられる。

13. ゼネラル・リコール

13-1. ゼネラル・リコールの場合は、音響信号 2 声とともに第 1 代表旗を掲揚する。

13-2. ゼネラル・リコール後の再スタートは第 1 代表旗降下 1 分後に予告信号を発する。

13-3. 艇数によりスタートをクラス分けする場合もスタート順は変わらない。

14. コースの短縮

14-1. コースの短縮は、回航マークにて行われる。リビエラカップ旗を掲げた公式運営艇に S 旗を掲げ音響信号 2 声を発する。公式運営艇のリビエラカップ旗を掲げたマスト又はポールと黄色のブイの間をフィニッシュ・ラインとする(RRS 規則 32 の変更)。

14-2. S 旗と同時にクラス旗が掲揚されている場合、当該クラスのみコース短縮とする。

14-3. コース短縮の公式運営艇は錨泊していない場合もある。

15. 帰着申告

フィニッシュを持って帰着申告とする。スタートしたにもかかわらずフィニッシュしなかった艇は、速やかにその艇の責任者がレース本部に連絡する事。

●海上にてレースが中止となった場合、各艇は帰港後速やかにレース本部に帰着申告をしなければならない。シーボニア以外へ帰港した艇は電話でも受け付ける。艇名、連絡者名、船体乗員の状況を報告する事(厳守)。●

16. 事故報告

人員の負傷、落水など、また船体の損傷を伴う、衝突、座礁などがあった場合、抗議救済の要求の有無に関わらず事故報告書をレース本部まで提出すること。事故状況、日時、関係艇、場所、提出者名、連絡先などを書面で FAX または持参する事。

17. タイムリミット

全艇 14 時とする。14 時までにフィニッシュしなかった艇は DNF と記録される。

(RRS 規則 35 の変更)

18. レースの成立

各クラスのトップ艇のフィニッシュをもって成立とする。

19. 失格に代わる罰則

RRS 第 2 章および RRS31 の規則違反については RRS 規則 44.1 及び 44.2 を適用する。

20. 抗議 (救済の要求)

- 20-1. 抗議（救済の要求）は RRS61（RRS62）に従い、かつフィニッシュ後速やかにフィニッシュ運営艇にその意思を伝えなければならない。〔これは規則 6 1.1（a）を変更している〕抗議書はレース本部に、自艇のフィニッシュ後 90 分以内に提出しなければならない。
- 20-2. 審問の開始時間及び場所は公式掲示板に掲示し、関係者に通告される。抗議者・被抗議者及び証人は出席しなければならない。

21. 成績の算出

- 21-1. IRC クラス（Shonan Race I クラス）：2019 年 IRC TCC 数値によるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合 TCC 数値の小さい艇を上位とする。
- 21-2. ORC クラス（Shonan Race O クラス）：2019 年 ORC トリプルナンバーによるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合 TMF 数値の小さい艇を上位とする。
- 21-3. OPEN クラス（Shonan Race N クラス）・ダブルハンドクラス(Shonan Race N クラス)
- ・新春親善レース成績：レース委員会が設定した TMF によるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。
修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合 TMF 数値の小さい艇を上位とする。
 - ・Shonan Race 成績：レース委員会が設定した TMF によるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。
また、以下の申告があった場合所要時間に各修正値を減じて修正時間を算出する。修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合 TMF 数値の小さい艇を上位とする。
 - ◇女性、小学生以下、65 歳以上乗艇の各 1 名につき：-1%
 - ◇乗員 3 名以下の参加の場合：-1%
 - ◇ジブファーラー使用：-1%
 - ◇スピナーカー（ジェネカーなど）不使用：-2%
 - ◇合計 10%を限度とする。

22. 責任の所在

レース参加艇の乗員及び艇体の安全もしくは事故（死亡・障害・沈没・損傷など）については、その責任はレース参加艇が負うものとし、主催者ならびに大会関係諸団体、運営者はその責任を一切負わない。

レースに参加するか否か、またレースを続行するか否かを含めてすべてレース艇の乗員が判断することでありレース委員会など運営者は責任を持たない。自艇にとって危険と判断した場合などは、自己責任で出艇の取りやめ、リタイアなどをする事。

23. ごみの処分

レース艇及び支援艇から出たごみは、海上で投棄せず自艇で所持し続け、持ち帰り、陸上で処分しなければならない、これはスピナーカーの毛糸・ゴムバンドを含む。

24. レース本部の所在

〒238-0225 三浦市三崎町小網代 1286 シーボニアマリナーハーバー事務所
TEL 046-882-1214（シーボニア・ハーバー事務所）
（JSAF 三浦外洋セーリングクラブ・シーボニアフリート）

以上

